

2017年度比較政治学会

共通論題コメント

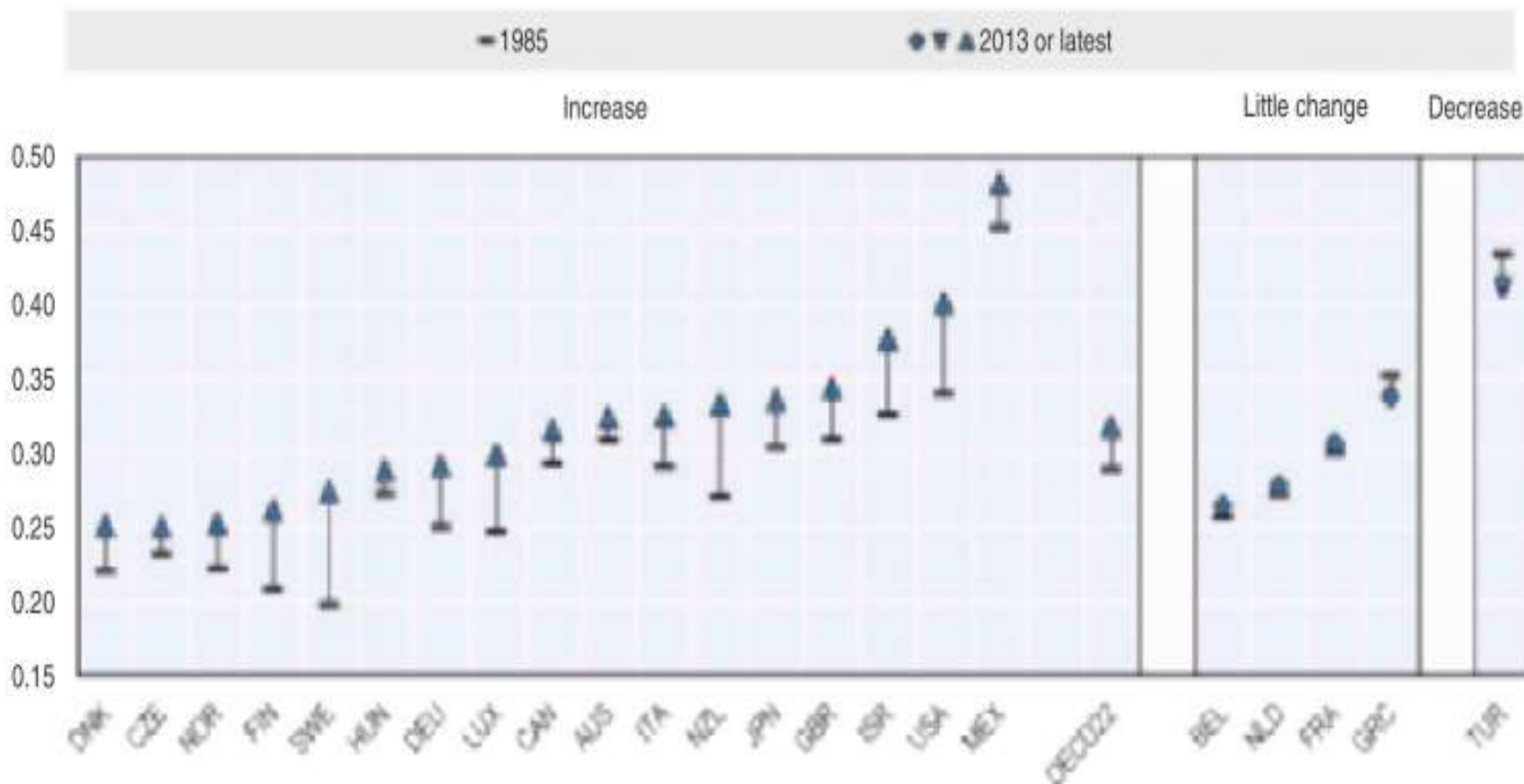
一橋大学
田中 拓道

2017/6/18

1 問題の所在

表 OECD諸国における所得不平等の変化

Gini coefficients of income inequality, mid-1980s and 2013, or latest available year



1 問題の所在

過去30年来の**格差の拡大** (OECD 2015)

⇔ 政治の対応の不十分さ

→ **政治不信**の高まり

排外主義と結びついた

ポピュリズム的動き

e.g. トランプ選出、Brexit

1 問題の所在

日本社会の分断

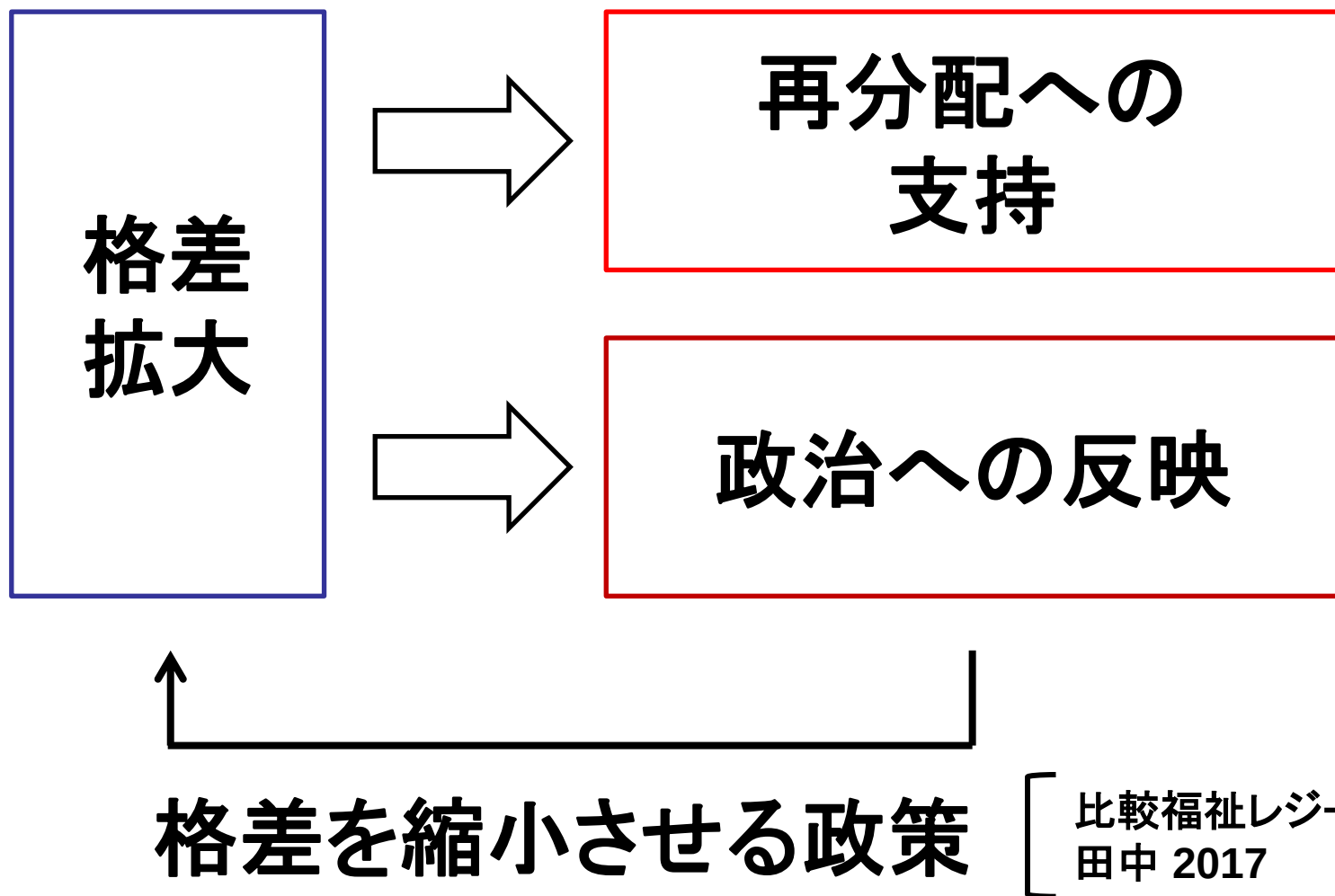
相対的貧困率(16%)、
子どもの貧困(16.3%)、
男女の格差 (WEFジェンダーギャップ111/144位)

⇔ 実質的な再分配政策の乏しさ

1 問題の所在

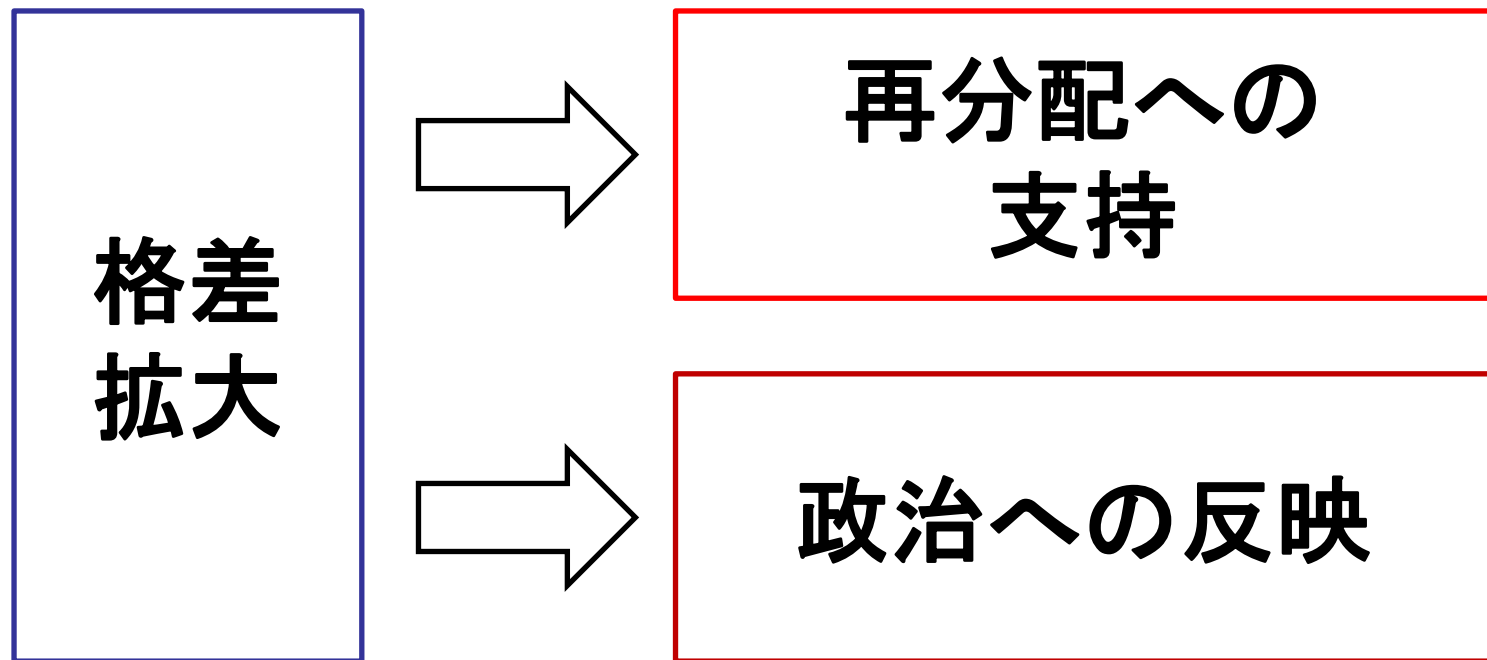
なぜ今日の先進国では、
社会の分断を修復する
政治が機能しないのか？

2 分断社会と比較政治



比較福祉レジーム論
田中 2017

2 分断社会と比較政治



3 格差拡大→再分配への支持

格差の拡大が再分配への支持に
どういう影響を与えるか？

- ・格差拡大→再分配への支持拡大
(Melzter and Richard 1985)

⇔・相関なし

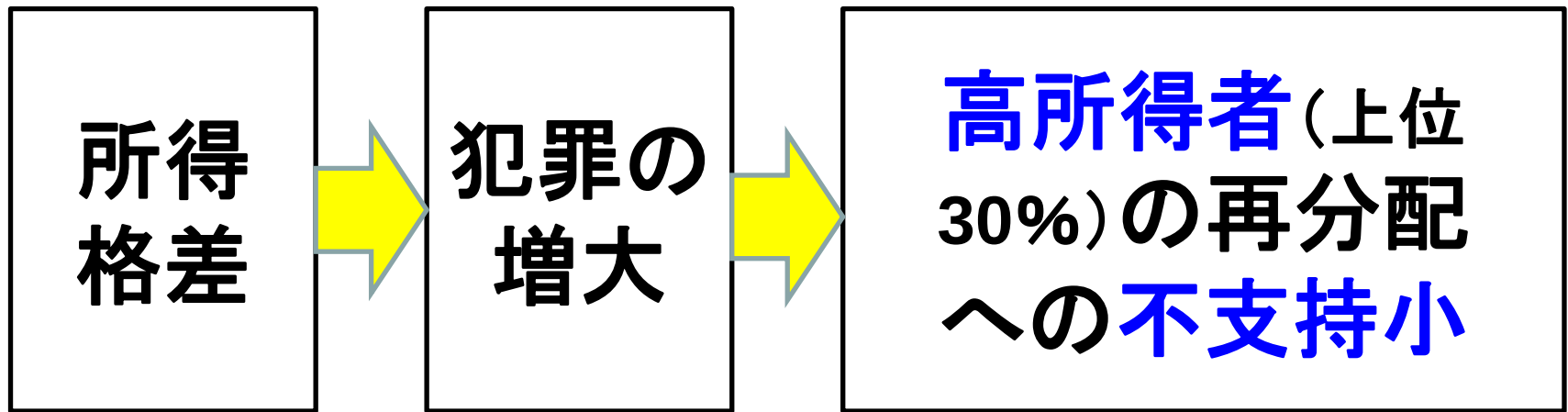
福祉レジーム (Dalinger 2010)

政治制度 (Iversen and Soskice 2006)

人種の分断 (Alesina and Glaeser 2004)

3 格差拡大→再分配への支持

飯田報告



(所得格差拡大→再分配への支持増大というインプリケーション) cf. 3頁

3 格差拡大→再分配への支持

コメント

- ・なぜ高所得層なのか？

⇔ 中間層の再分配への支持／
不支持こそ決定的では？

3 格差拡大→再分配への支持

- 途上国を除き先進国間で比較した場合？ cf. 日本とスウェーデン

図 6 所得の再分配への影響（交差項の解釈）

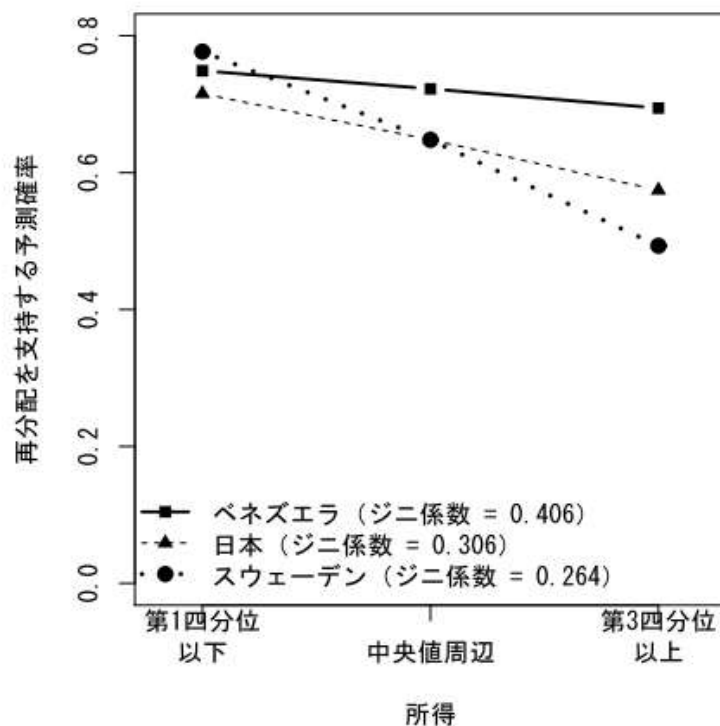
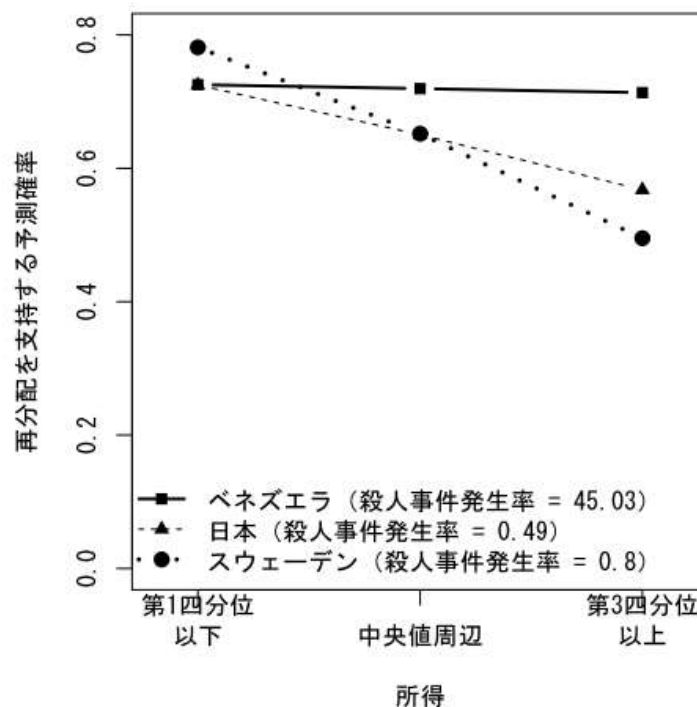


図 9 所得の再分配への影響（交差項の解釈）



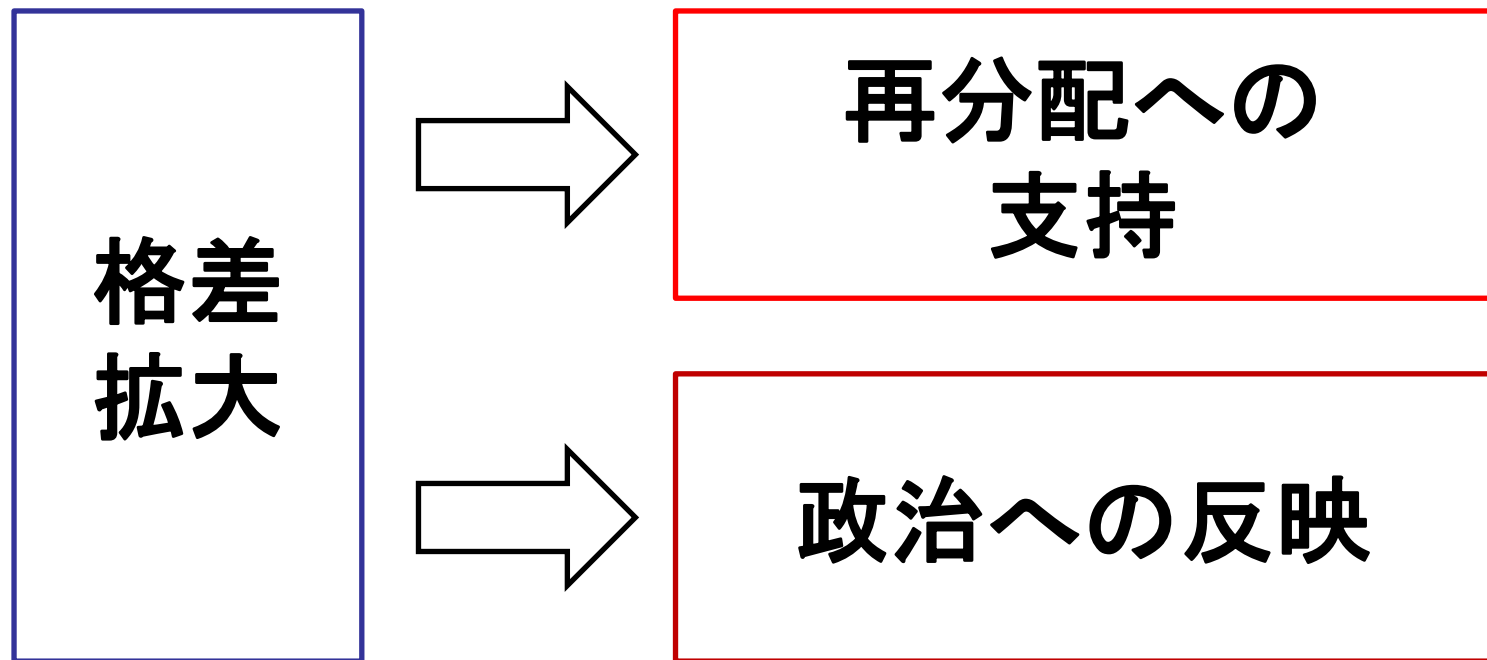
3 格差拡大→再分配への支持

- ・高所得層の態度だけでは社会全体の再分配への支持が説明できず

→なぜ日本では、

格差拡大⇔再分配への支持小
となるのだろうか？

4 格差拡大→政治への反映①



4 格差拡大→政治への反映①

格差の拡大が政治にどう反映されるか？

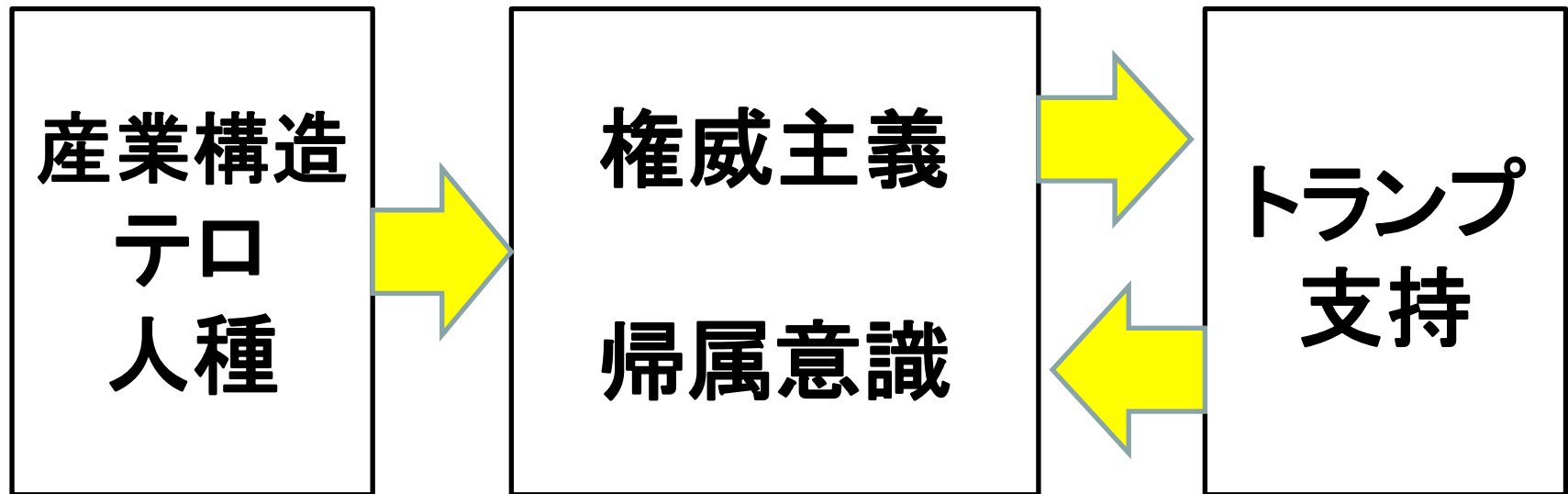
→ 政党政治の機能不全 (クラウチ 2007)

右派ポピュリズム政党の台頭
要因

経済不安 (Rydgren 2008)、
福祉レジーム (Swank and Betz 2003)、
政党システム (Brug et al. 2005)

4 格差拡大→政治への反映①

西川報告



物語り
アイデンティティ

4 格差拡大→政治への反映①

コメント

- ・一見非合理に見える投票行動を説明
- ・統治リーダーの言説に着目する
「構築主義」論との共通性
(Schmidt 2002; 小野編 2009)

4 格差拡大→政治への反映①



その問題点

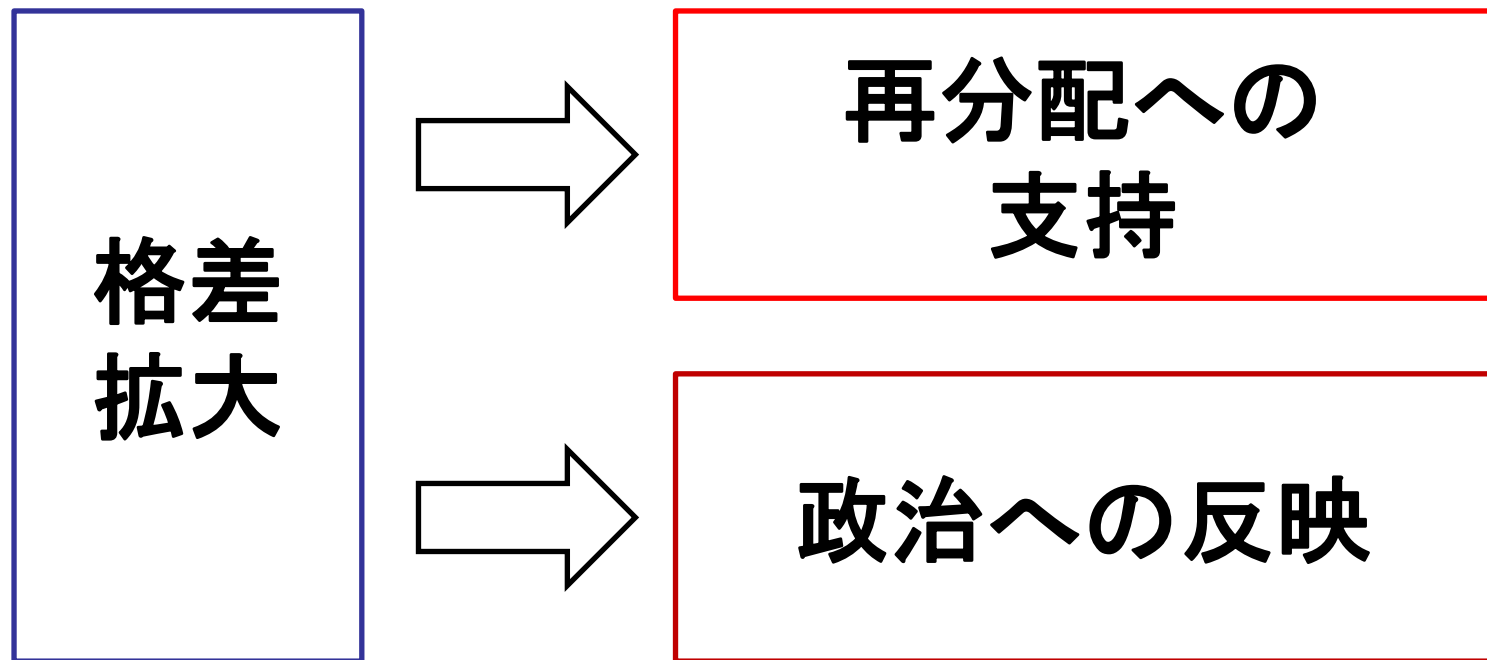
- ・言説が受容される場合／受容されない場合の条件とは？

e.g. アメリカのトランプと
フランスのマクロン、FN

4 格差拡大→政治への反映①

- ・言説の内容よりも、**社会構造、政治的な制度構造**のほうが規定要因なのでは？

4 格差拡大→政治への反映①



5 格差拡大→政治への反映②

格差拡大と民主主義

代表制の機能問いなおし

cf. 早川 2014; 待鳥 2015

多極共存・多文化主義批判

cf. Koopmans 2010

→ 熟議民主主義の可能性

5 格差拡大→政治への反映②

政治制度・公共圏・ミニパブリックス

... 熟議システムの一部

理性的討議と感情的討議

... 熟議の一部

私的な日常空間

... 熟議の一部

5 格差拡大→政治への反映②

「すべては熟議である」

→ **規範理論として有意義か？**

5 格差拡大→政治への反映②

経験的研究に対する規範理論の
役割とは？

~~事実の解釈~~

抗事実的な規範の提示

→ 今日の政治のどこに根本的
な機能不全があるのか？

- Alesina, Alberto and Edward L. Glaeser 2004 *Fighting Poverty in the U.S. and Europe: A World of Difference*, Oxford University Press.
- Brug, Wouter van der et al. 2005 "Why Some Anti-Immigrant Parties Fail and Others Succeed?: A Two-Step Model of Aggregate Electoral Support," *Comparative Political Studies*, vol. 38, no. 5, pp. 537-573.
- Dallinger, Ursula 2010 "Public support for redistribution: what explains cross-national differences?," *Journal of European Social Policy*, vol. 20, no. 4, pp. 333-349.
- Iversen, Torben and David Soskice 2006 "Electoral Institutions and the Politics of Coalitions: Why Some Democracies Redistribute More Than Others," *American Political Science Review*, Vol. 100, No. 2, pp. 165-181.
- Koopmans, Ruud 2010 "Trade-Offs between Equality and Difference: Immigrant Integration, Multiculturalism and the Welfare State in Cross-National Perspective," *Journal of Ethnic and Migration Studies*, vol. 36, no. 1, pp. 1-26.
- Rydgren, Jens 2008 "Immigration sceptics, xenophobes or racists? Radical right-wing voting in six West European countries," *European Journal of Political Research*, no. 45, pp. 737-765.
- Swank, Duane and Hans-Georg Betz 2003 "Globalization, the Welfare State and Right-Wing Populism in Western Europe," *Socio-Economic Review*, no. 1, pp. 215-245.
- Schmidt, Vivien A. 2002, *The Futures of European Capitalism*, Oxford University Press.
- 小野耕二編 2009『構成主義的政治理論と比較政治』ミネルヴァ書房
- クラウチ、コリン 2007『ポスト・デモクラシー—格差拡大の政策を生む政治構造』青土社
- 田中拓道 2017『福祉政治史—格差に抗するデモクラシー』勁草書房
- 早川誠 2014『代表制という思想』風行社
- 待鳥聡史 2015『代議制民主主義—「民意」と「政治家」を問い直す』中央公論新社